

● 第 5 章 ●

アレルギー性結膜炎

アレルギー性結膜炎とは？

花粉や住まいの中にあるほこりが原因になって起こる目のアレルギーのことをいいます。結膜は外からの刺激や異物にさらされやすい組織で、涙などでいつもぬれていますから、ほこりや花粉がくっつきやすく、アレルギーが起こりやすいのです。



アレルギーを起こすものには、何がありますか？

アレルギーの原因物質は抗原と呼びますが、最も眼のアレルギーの原因になりやすいものはダニです。ダニは、死んでいても生きていても過敏性のある人のからだ（眼、鼻、気管支）に入るとアレルギーを起こします。また住まいのほこり（ハウスダスト）には、ダニ、ダニの死骸や糞、ヒトや動物のフケや毛、カビなどが含まれ、さまざまなアレルギー症状を引き起こします。花粉もアレルギーの原因として重要です。早春のスギ、春から秋にかけてのイネ科植物（雑草）秋のキク科植物（ブタクサ・ヨモギ）などの花粉がよく花粉症をおこします。



症状は？



まず、眼やまぶたがかゆくなります。眼をこすったり、かいたりしていると次第に痛みが加わり、涙が出て、眼がゴロゴロした感じになります。

そしてそのまま放っておくと結膜が充血して、まぶたが腫れてきます。さらに症状が悪化すると、透明な角膜の周辺が赤紫になって、

結膜にゼリー状の目やにがでてきます。また、眼を強くこすりすぎたときは、「しろめ」の部分が腫れて水がたまった様になり、目の外に飛び出すほどになることがあります。

治療は？

抗アレルギーの点眼薬の点眼、眼軟膏。重症になると副腎皮質ホルモン（ステロイド）点眼が用いられます。

また、園外行事などで園児が急に痒みや充血を訴える場合などの処置のまず第一は目にたまっている抗原となる花粉などを水道水で、さっと流してしまうことです。

アトピー性皮膚炎があり、よく眼をこするのですが大丈夫？

アトピー性皮膚炎にともなうアレルギー性の結膜疾患をアトピー性角結膜炎とよびますが、他のアレルギー性結膜炎と同様にかゆみがひどく、涙があふれ結膜が充血したり、濁ったりする症状が出る上、まぶたの皮膚があつくなったり感染をおこしたり、まばたきや涙液の角膜保護作用が低下して角膜びらんなどを伴うことがあります。また、重症のアレルギー性結膜炎を春季カタルとよびますが患者さんの70%以上にアトピー性皮膚炎があり重い角膜障害を合併して視力にも影響します。アトピー性角結膜炎の患者さんの多くは、ダニ過敏症なのでダニを排除することが非常に大切です。

またアトピー性眼瞼炎などのかゆさのため、眼をこすったり、叩くなどを続けていると思春期以降に白内障や網膜剥離などの重篤な眼の病気を生じることもあるので、普段から眼をこすることは避ける必要があります。